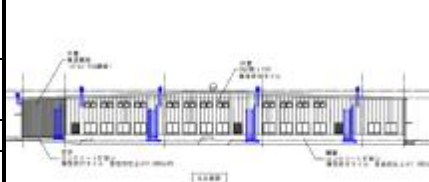


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 浅野歯車工作所 第8工場	階数	地上1F
建設地	大阪府大阪狭山市東池尻	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2023年8月21日
敷地面積	9,179 m ²	作成者	塚土建株式会社 山田孝雄
建築面積	2,463 m ²	確認日	2023年8月21日
延床面積	2,463 m ²	確認者	塚土建株式会社 山田孝雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.6 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.3</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>補修・更新必要間隔の長い仕上げ材や配管を使用しているため、耐用年数の長い建築物である</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>対象外</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>補修必要間隔の長い外壁仕上げ材を使用しており、主要内装仕上げ材や、空調・給排水配管においても、更新必要間隔が長い部材・配管を使用している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>0</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>屋根にルーファンを設置することで、建物内の熱気が排出され、冷房負荷の低減に有効な通風利用がなされている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>発泡剤を用いた断熱材を使用していない</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目、の配慮事項の過半を満たしている。広告物照明を行っていない</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0057

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	株式会社 浅野歯車工作所 第8工場増築工事						
	建設地	大阪府大阪狭山市東池尻						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						評価対象外	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告								
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					-	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					-	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							